

講義名	研究演習 (人)		
講義コード	25226	授業形態	
担当教員	内田 遼介	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
		演習科目コード	SEM250

学部・学科	演習分野
人間社会学部・人間健康学科	スポーツ心理学演習

概要説明

スポーツ心理学は、スポーツ場面で観察される人間行動について、主に心理学の理論や研究方法を用いて探究する学問です。本演習では、文献を読んで知識として理解するだけでなく、実践や体験を通して主体的に学ぶ場とすることを目的としています。具体的には、文献・専門書の輪読を通してスポーツ心理学が扱う諸現象(動機づけ、メンタルトレーニング、ストレス、リーダーシップなど)について理解を深めます。同時に、学んだ知識を活かし、学外での実践活動(例：中学生を対象としたスポーツメンタルトレーニング講座の企画・実施など)にも取り組みます。このような「理論と実践の往還」を通して、自分自身が強い興味・関心を抱くテーマを一つ見つけてもらいます。そして、そのテーマを発展させる形で、研究演習 / および卒業研究へとつなげていきます。

主な卒業論文のタイトル

- ・自己決定場面における課題価値の影響に関する研究 - バッティング課題を用いた実験的検討
- ・運動部活動の経験とライフスキルの関連性 - 文化的自己観と学業に対する目的意識の調整効果
- ・スポーツ・パラメントの発生頻度に影響する要因の検討
- ・中学生のスポーツ参加における組織形態の違いが心理的側面に及ぼす影響 - 学校部活動と地域スポーツクラブの比較

教員からの要望

・演習活動中に積極的に発言してくれる学生を希望します。的外れな意見でもまったく問題ありません。積極的に議論に参加しようとする前向きな気持ちが大切です。

選考方法

・演習申込書に記載された内容と面談、過去の成績によって選考します。

評価方法

・発表 / 課題の出来、学外活動に対する貢献度で成績を評価します。

到達目標・成果物

< 研究演習 >
【到達目標】
スポーツ場面で観察される人間行動について、主要な心理学理論や概念を用いて説明できるようになる。
【成果物】
・スポーツ心理学に関する講義スライド
・プレゼンテーション動画(15分程度)

< 研究演習 >
【到達目標】
スポーツ場面で観察される人間行動について、心理学の観点から整理し、初学者に対して分かりやすく構造化して説明できるようになる。

教員英字氏名	研究室
Ryosuke UCHIDA	研究棟 4階 5408研究室

最終学歴

大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了

学位

博士(人間科学)

主な研究活動・社会活動・研究業績

- 主な研究活動
- ・体罰に関する心理学研究
 - ・優れたコーチング行動に関する心理学研究 など
- 主な社会活動
- ・中学生 / 高校生に対するスポーツメンタルトレーニング講座の開催
 - ・スポーツ指導者に対する研修会での講師 など

趣味・特技

なし

所属

人間社会学部 人間健康学科

所属学会

スポーツ心理学会
日本体育・スポーツ・健康学会
日本心理学会

専門分野

スポーツ心理学

担当科目

スポーツ心理学
スポーツ統計学
リーダーシップ論
コーチング論
スポーツメンタルトレーニング論
教養特講 (人間健康学科へのいざない)

備考

・演習活動の中には参加費が必要なものがあります。

実務経験の有無及び活用

なし